

静岡県東部地域企業経営動向調査(速報)

(2014年10-12月期実績、2015年1-3月期見通し)

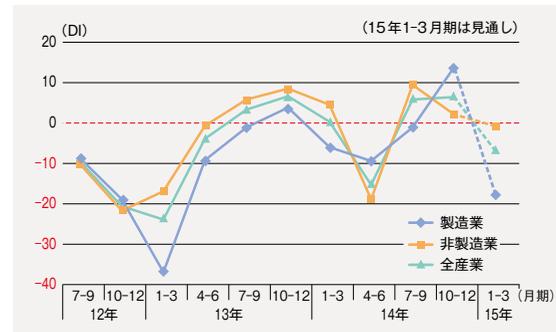
1 業況概要(自社)

今季全産業DIはおおむね横ばい、来年は低下予想

静岡県東部地域における2014年10-12月期の業況判断DI(対前期比)は、全産業で6.5(前期5.9)と概ね横ばいで推移した。製造業ではパルプ・紙・紙加工品や食料品などで改善が進み、DIは全体で13.9(前期-1.0)とプラス水準を回復した。一方、非製造業では全般に低下傾向がみられ、全体では2.2(前期9.5)となっている。

2015年1-3月期の予想DIは、全産業で-6.9と低下予想となった。製造業では-17.7と消費税増税後の反動減のあった2014年4-6月期を下回る大幅な低下見通しとなっている。一転して大幅な低下が予想さ

れ企業の先行き観は厳しい。また、非製造業でも-2.2とやや低下すると予想される。



業種別天気図



(2014年7-9月期、10-12月期は前期比、2015年1-3月期は今期比見通し)

| | 製造業 | 食料品 | パルプ・紙・紙加工品 | 一般機械器具 | 非製造業 | 卸・小売・サービス業 | 旅館・その他宿泊所 | 建設業 |
|--------------|-----|-----|------------|--------|------|------------|-----------|-----|
| 2014年7-9月期 | ☁ | ☀ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☀ | ☀ |
| 2014年10-12月期 | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☁ | ☁ | ☀ | ☀ |
| 2015年1-3月期 | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☀ | ☁ |

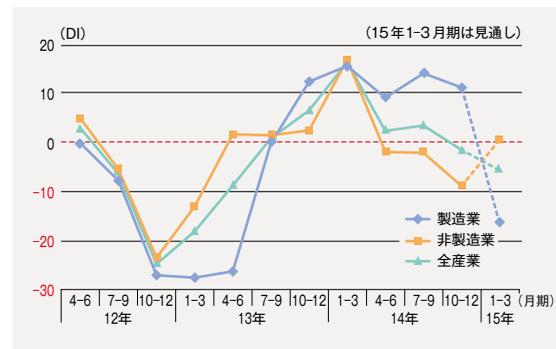
2 売上動向

全産業DIは7四半期ぶりのマイナス、来期も低下予想

2014年10-12月期の全産業の売上動向DI(対前年同期比)は-1.4(前期3.6)と低下し、2013年4-6月期以来、7四半期ぶりのマイナスとなった。製造業では、金属製品やパルプ・紙・紙加工品でDIが上昇したが、金属製品や食料品などがマイナスに転じ、全体では6四半期連続してプラスを維持しているものの、11.4(前期14.3)とやや低下した。一方、非製造業は旅館・その他宿泊所や建設業で低下、-8.8(前期-2.0)と消費税増税後3四半期連続のマイナスとなっている。

2015年1-3月期の予想DIは、全産業で-5.6と今期比低下が予想されている。なお、非製造業では0.7と上昇が期待されているのに対し、製造業では-16.5

と大幅な低下が見込まれており、対照的な動きとなっている。



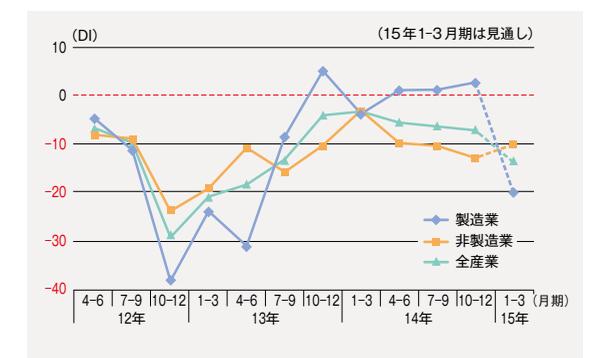
3 利益動向

製造業でやや上昇、非製造業は低下、来期は製造業で大幅低下予想

2014年10-12月期の全産業の利益動向DI(対前年同期比)は-7.4(前期-6.6)と若干低下した。製造業では、金属製品でDIが低下したが、一般機械器具、パルプ・紙・紙加工品、食料品で上昇したため、全体では2.5(前期1.0)とやや上昇、2四半期連続してプラスとなった。一方、非製造業ではその他小売・サービス業等でDIがやや上昇したものの、旅館・その他宿泊所と建設業で低下した。全体でも-13.1(前期-10.6)と、依然として水面下にある。

2015年1-3月期(見通し)の予想DIは、全産業で-14.0と4四半期連続のマイナス。うち、製造業では-20.0と一転して大幅な低下が見込まれる。一方、非

製造業は-10.3と5四半期ぶりの改善が予想されているものの駆け込み需要前の水準に留まっている。



4 経営上の問題点

「従業員の高齢化」回答比率が大幅に上昇

「受注・売上の停滞・減少」(49.5%)、「原材料・仕入れ商品の値上がり」(37.5%)の上位2項目は変わらないが、「従業員の高齢化」(31.9%)が前期より

10ポイント近く上昇しており、特に建設業で指摘する比率が高い。一方で「過当競争・製品安」(27.3%)は比率、順位とも低下している。

(単位:社、%)

| | 14年4-6月期 | | 14年7-9月期 | | 14年10-12月期 | | 順位変動 |
|-------------------|----------|------|----------|------|------------|------|------|
| | 企業 | 比率 | 企業 | 比率 | 企業 | 比率 | |
| 1. 受注・売上の停滞・減少 | 142 | 51.3 | 143 | 46.9 | 107 | 49.5 | → |
| 2. 原材料・仕入れ商品の値上がり | 103 | 37.2 | 104 | 34.1 | 81 | 37.5 | → |
| 3. 従業員の高齢化 | 63 | 22.7 | 69 | 22.6 | 69 | 31.9 | ↑ |
| 4. 人材の育成 | 99 | 35.7 | 103 | 33.8 | 67 | 31.0 | ↓ |
| 5. 過当競争・製品安 | 86 | 31.0 | 88 | 28.9 | 59 | 27.3 | ↓ |
| 6. その他経費の増加 | 65 | 23.5 | 71 | 23.3 | 44 | 20.4 | ↓ |
| 7. 人件費の増加 | 53 | 19.1 | 59 | 19.3 | 42 | 19.4 | ↑ |
| 8. 生産・販売能力の不足 | 42 | 15.2 | 60 | 19.7 | 39 | 18.1 | ↑ |

調査の概要

- 調査目的 / 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
- 調査対象企業 / 静岡県東部地域に立地する企業666社 回答数216(回答率32.4%)
- 調査方法 / 当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
- 調査対象期間 / 実績:2014年10-12月期 見通し:2015年1-3月期
- 調査時点 / 2014年11-12月
- その他 / 本調査は、11月27日時点の集計による速報値に基づいて分析しています

DI: ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標です。

※この他、今回は2015年業況の見通し等についても調査しています。調査結果は弊所ウェブサイト(<http://www.srgi.or.jp>)をご覧ください。